

槽概要	数値
配置面積 (m2)	9.23
容量 (m3)	14.22
有効容量 (m3)	13.58
空隙率 (%)	95.5

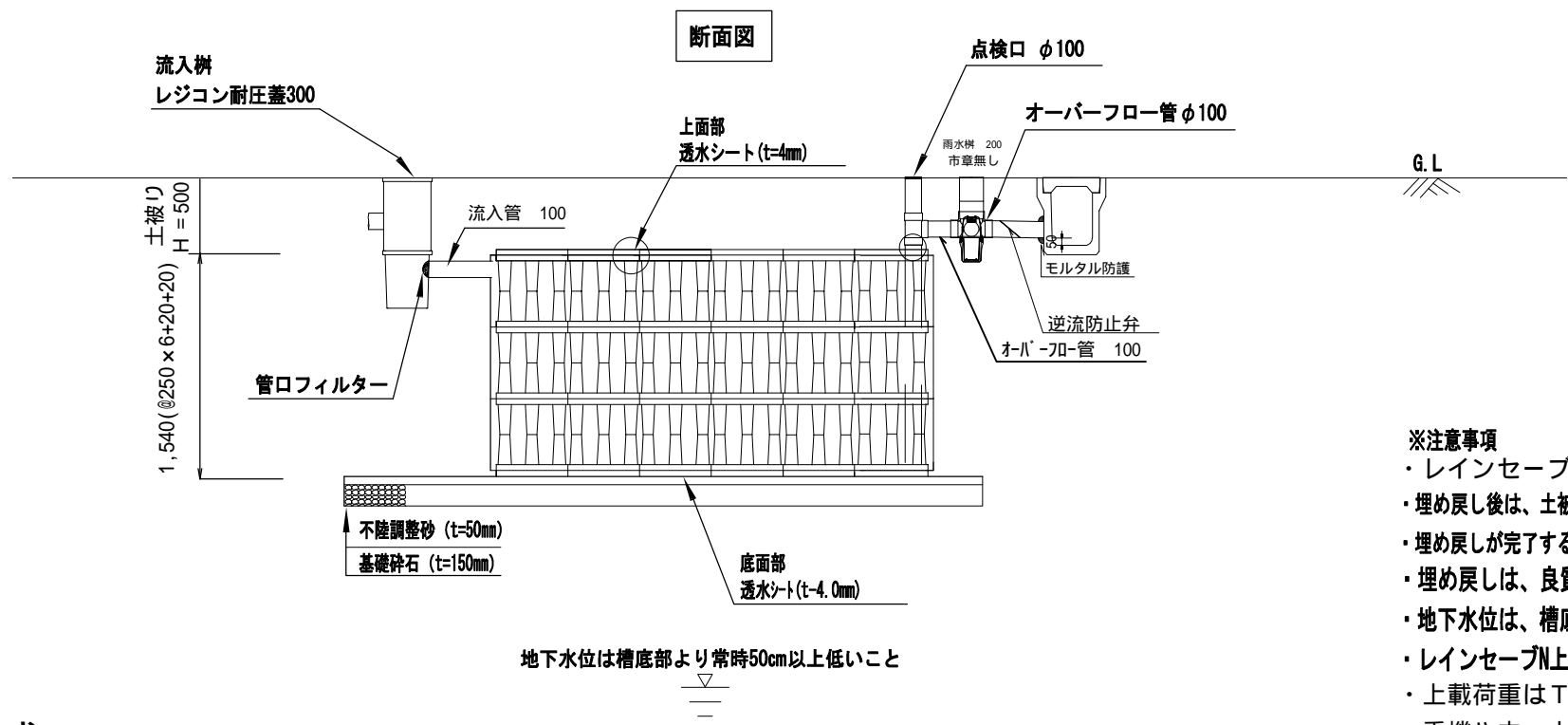
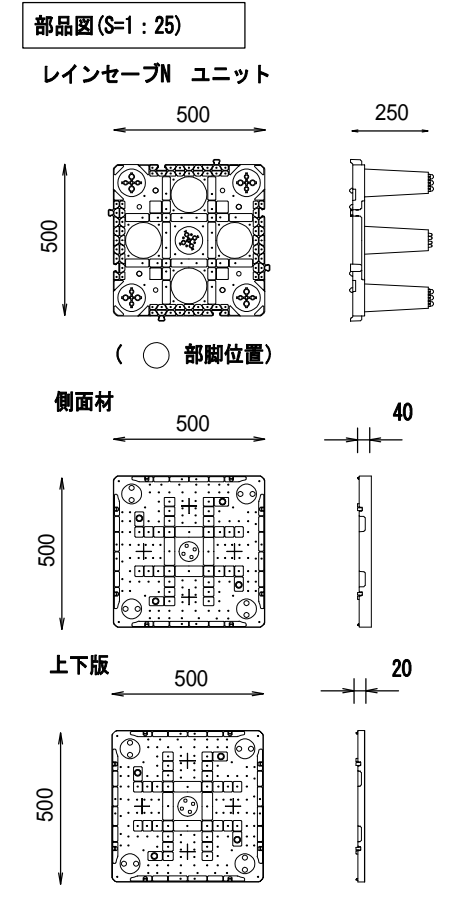
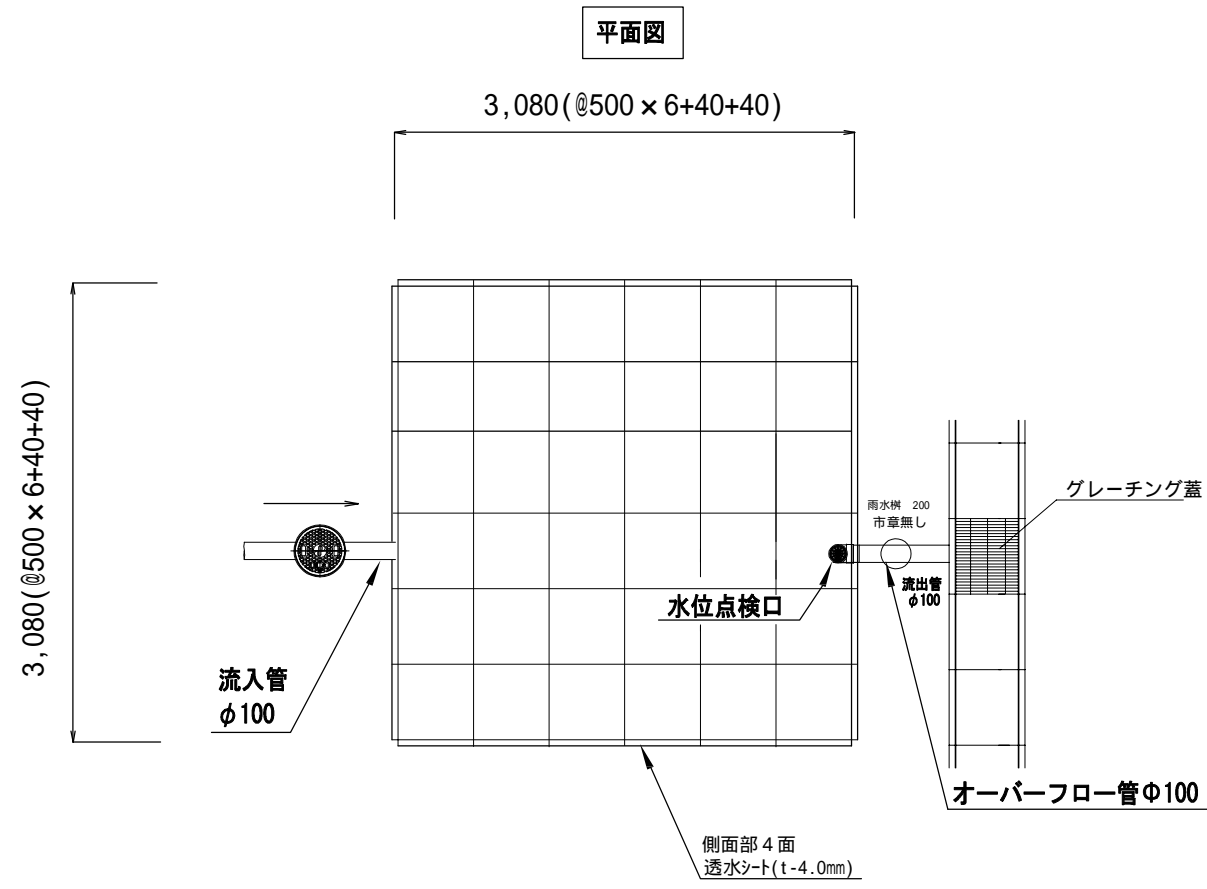
設置数 : 55

- ※注意事項
- ・レインセーブNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
  - ・埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m2以下にしてください。
  - ・埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
  - ・埋め戻しは、良質土を用いて行き、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
  - ・地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
  - ・レインセーブN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
  - ・上載荷重はT-2（普通乗用車程度）にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
  - ・最大埋設深度は、GLから槽底部まで2.5mです。

貯留量計算式

$$2.58\text{m} \times 3.58\text{m} \times 1.54\text{m} \times 0.955 = 13.58\text{m}^3$$

改訂履歴	1		縮尺	A1	/	/	/	図面名称	雨水浸透槽構造図 Aタイプ	日付	R4.1.28
	2			A3	1/50	/	/				
改訂履歴	3		製図	株式会社マルヨシ			工事名称	千葉市緑区高田町造成工事			
	4			TEL 0476-85-7165 FAX 0476-85-7365							



槽概要	数値
配置面積 (m <sup>2</sup> )	9.48
容量 (m <sup>3</sup> )	14.6
有効容量 (m <sup>3</sup> )	13.94
空隙率 (%)	95.5

設置数 : 1 宅地番号48

- ※注意事項
- レインセーブNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
  - 埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m<sup>2</sup>以下にしてください。
  - 埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
  - 埋め戻しは、良質土を用いて行い、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
  - 地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
  - レインセーブN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
  - 上載荷重はT-2(普通乗用車程度)にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
  - 最大埋設深度は、GLから槽底部まで2.5mです。

貯留量計算式

$$3.08\text{m} \times 3.08\text{m} \times 1.54\text{m} \times 0.955 = 13.94\text{m}^3$$

改訂履歴	1		縮尺	A1	/	/	図面名称	雨水浸透槽構造図Bタイプ			
	2			A3	1/50	/					
	3			製図	株式会社マルヨシ				工事名称	千葉県緑区高田町造成工事	
	4			TEL 0476-85-7165 FAX 0476-85-7365							日付